

株式会社 iLAC フェムテック(FemTech)事業における共同開発について

1. 概要

株式会社 iLAC（代表取締役：佐藤 孝明／以下、iLAC）は、ユニ・チャーム株式会社（以下、ユニ・チャーム）とフェムテック(FemTech)領域に関する新たなサービスの社会実装を目的として、この度「共同研究開発契約」を締結しました。更に、iLAC は日本政策投資銀行等からの第 3 者増資を受けました。

2. 共同研究開発の背景

仕事やコミュニティ、プライベートにおいて活躍する女性が増える中、「女性の健康」の重要性が注目されています。とりわけ女性特有の健康課題による労働損失等の経済損失は、社会全体で約 3.4 兆円と推計されています¹。

日本におけるフェムテック元年ともいえる 2020 年を起点に、国内においても女性の健康課題領域における取組が広がりを見せております。一方で、婦人科がん検診の受診率は「時間がない」等の理由により 50%にも満たないのが現状です²。

こうした状況を受け、iLAC は子宮頸がん等の発生に関わるヒトパピローマウイルス(HPV: Human Papilloma Virus)³のスクリーニングに着目しました。従来の「通院による」HPV 検査を「日常生活の中」に取り入れることによって、より多くの早期疾患の発見につなげることができます。

3. 共同開発の意義と目標

iLAC の遺伝子解析技術とユニ・チャーム株式会社が持つ日用品の商品開発力を組み合わせることで、革新的なソリューションを提供し、女性のライフステージに合わせた健康の維持向上に貢献いたします。

4. 関連情報

【iLAC について】

社 名 株式会社 iLAC

代表取締役 佐藤 孝明

創 業 2012 年 8 月 15 日

iLAC は個人に最適な治療や薬の選択につながる「プレジジョン・メディスン（個別化精密医療）」の社会実装を目指し、ロボティクスを活用したゲノム解析、遺伝子発現解析、ウイルスゲノム解析を提供しています。また、プロテオーム・メタボロームなどオミックス解析技術も有し、多次元マーカーによる統合解析システムを整えています。フェムテック領域を含むジェンダーの特性により発症するがんやその他の様々な疾患の早期発見をはじめ、新たな治療標的の発見、高齢化社会における健康長寿の実現、医療費抑制に貢献します。

URL : <https://www.i-lac.co.jp/>

参考資料 :

- 1 経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の資産と健康経営の必要性について（令和6年2月）
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/downloadfiles/jyosei_keizaisanshitsu.pdf
- 2 国立研究開発法人国立がん研究センター「がん検診受診率（国民生活基礎調査による推計値）」
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/screening/screening.html
- 3 厚生労働省「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がんとHPVワクチン～」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 iLAC

経営企画戦略部長 緑川宇一

email: contactinfo@i-lac.co.jp
